

地球温暖化防止と快適な住環境の保全・形成

低炭素・資源循環型社会づくり

資源とごみを正しく出そう！

～集合住宅の単身者、子どもたちへの啓発～

予算額 1,983千円

目的・概要

22年度は、資源とごみの適正排出向上のため、集合住宅に住む単身者や次代を担う児童・生徒に対して継続的な啓発活動を行います。

内容

資源化の推進・ごみの減量のためには、区民の皆さんの理解と協力が欠かせません。いろいろな世代への働きかけやさまざまなPR手段によって継続的に情報をお知らせすることで、資源とごみの適正排出の向上を図ります。

- 児童（未就学児を含む）・生徒に対しては、出前講座やイベント等での紙芝居の読み聞かせや、分かりやすいパンフレットの作成・配布などで適正排出への理解の向上を図ります。
- ごみの分別方法は自治体によって異なるため、異動の多い単身者等に区の排出ルールを知らせることが重要です。21年度には、集合住宅に住む単身者を対象に、資源とごみの適正排出方法を案内するパンフレットを配布しました。22年度も継続してパンフレットを作成し、資源とごみの適切な排出の周知を図ります。
- 東急バスの車内アナウンス放送を活用して、区民の皆さんに資源化やごみの減量等に関する情報発信を行います。

担当所管

環境清掃部 清掃リサイクル課 普及係 直通電話 03-5722-9883

地球温暖化防止と快適な住環境の保全・形成

低炭素・資源循環型社会づくり

集団回収の支援強化

予算額 5,355千円

目的・概要

平成21年10月から先行実施町会（6町会）を設定し、その地域内の古紙回収を集団回収に一元化しました。平成22年度は、新たに24町会・自治会で集団回収一元化を実施します。

内容

現在、新聞、雑誌類、段ボールの古紙の回収方法は、区が行っている行政回収と、町会等が行っている集団回収の二つの方法で行っています。

今後は、行政回収を廃止し、町会等が実施する「集団回収」に順次一元化していきます。

平成21年10月から、区内6町会で、古紙の集団回収一元化を先行実施しています。平成22年度は、新たに24町会で集団回収一元化を実施します。

先行実施町会への周知・パトロール委託

資源とごみの分け方・出し方等作成 597千円

チラシ配布・パトロール委託 4,758千円

担当所管

環境清掃部 清掃事務所 資源化推進係 直通電話 03-3719-5352

地球温暖化防止と快適な住環境の保全・形成

低炭素・資源循環型社会づくり

めぐろ買い物ルール of PR



予算額 1,460千円

目的・概要

目黒区廃棄物減量等推進審議会答申(17年4月)の中の、「ごみをつくり出さない区独自の買い物の仕組みづくり」提案を受けて、環境にも財布にもやさしい賢い買い物を広めるために5つのルールを作り、PR方法に工夫を凝らしながら、ごみを減らす運動「めぐろ買い物ルール」としてPRしています。

内容

<買い物ルール

PR方法の特徴>

- 統一したデザインを使用
- ルールをイラストで分かりやすく表示
- なるべくごみを出さないPR方法を工夫

<ごみごみ あ！ミ〜ゴ>

- ・ごみを減らす運動「めぐろ買い物ルール」を、ごみにならない「歌」と「踊り」で広めるためにつくったものです。
- ・覚えやすいリズムミカルな歌とダンスが特徴です。
- ・歌詞には、めぐろ買い物ルールの5つのルールが入っています。
- ・DVDを作成し、区のHPで動画配信しています。
- ・区職員やめぐろ買い物ルールを広める会会員で作った「ごみごみダンサーズ」が、イベント会場で参加者と踊ります。

ルール1 1日1回、ノーレジ袋のすすめ
区民全員が取り組めば約9000万枚、891トンのごみが減らせます
No Thank you! 891t CO2削減
× 8,000万枚

ルール2 パラ売りを選ばおう！
まずは、包装のない野菜・果物のパラ売りから

ルール3 詰め替え商品を選ぼう！
すくいらなくなるものはできるだけ少なく

ルール4 残さず食べる工夫をしよう！
食べ物大切にす文化を取り戻そう
Large Medium Small

ルール5 「長く」「繰り返し」を見直そう！
使い捨てす繰り返し使う工夫をしてみよう



ステージで踊る「ごみごみダンサーズ」

担当所管

環境清掃部 清掃リサイクル課 清掃計画係 直通電話 03-5722-9883

地球温暖化防止と快適な住環境の保全・形成

低炭素・資源循環型社会づくり

商店街街路灯のLED化支援事業

予算額 23,435千円

目的・概要

商店街の街路灯は、商店街の利用者が安全で安心して買い物ができ、かつ地域の安全・安心な街づくりに大きく貢献しています。街路灯は、商店街の資産であるため、商店街会費で維持管理を行っておりますが、特に電気料の負担が大きく、商店街活動の本来の目的である販売促進事業に会費収入を充てるのが困難となっています。そこで、電気料の大幅な削減を見込むことができ、併せて温室効果ガス（CO₂）の排出量削減により環境負荷の低減を図ることができるLED街路灯の設置を支援します。

内容

自由が丘地区都市再生整備計画に基づき平成22年度に整備を行う、自由が丘駅前広場の改修に合わせ、既存の街路灯を撤去し、LED街路灯を新設します。

平町商店街振興組合の既存の街路灯の灯具をLED照明に改修します。

自由が丘銀座会の共同設備照明をLED照明に改修します。

新・元気を出せ！商店街活性化事業を活用し、既存の街路灯の撤去及びLED街路灯新設に係る経費の3分の2を支援します（目黒区と東京都でそれぞれ3分の1を負担します）。



現在の自由が丘駅前広場の様子

担当所管

産業経済部

産業経済課

商店街振興係

直通電話 03-5722-9881

地球温暖化防止と快適な住環境の保全・形成

低炭素・資源循環型社会づくり

「めぐろの森」(仮称) 創設

～温暖化対策事業を友好都市「角田市」で～

予算額 2,712千円

目的・概要

目黒区の地球温暖化対策におけるカーボンオフセット^{*1}事業のひとつとして、友好都市である宮城県角田市に「めぐろの森」(仮称)を創設します。

内容

温室効果ガス(二酸化炭素)の吸収源として、友好都市である宮城県角田市の山間部の一角に、区の出資により森を整備するもので、同市の協力のもと、場所の選定・整地・植林などを行い、「めぐろの森」(仮称)を創設します。

初年度である22年度は、約1ヘクタールの土地に約100本植林し、順次増やしていく予定です。今後は、区民にも植林や自然体験などの環境交流事業に参加していただき、温暖化対策の啓発に役立てたいと考えています。

植林の経費の一部には、区内にある日出学園が22年1月に目黒区に寄付した、文化祭の売上金を充てる予定です。同学園は、昨年11月の文化祭で「メグローカル宣言～日出が目黒にできること」をテーマに掲げ、すべてのクラス企画を模擬店として、その売上金を角田市の植林活動に使ってほしいと寄付されたものです。



目黒区と角田市の交流は昭和57年から始まり、小学生のホームステイや稲作体験、緑化事業など、幅広い分野で交流があり平成20年5月に友好都市協定を締結しています。本事業の実施により同市との環境分野での交流を広げていきます。

^{*1}…カーボン・オフセットとは、日常生活や経済活動において避けることができないCO₂等の温室効果ガスの排出について、まずできるだけ排出量が減るよう削減努力を行い、どうしても排出される温室効果ガスについて、排出量に見合った温室効果ガスの削減活動に投資すること等により、排出される温室効果ガスを埋め合わせるという考え方。

担当所管

環境清掃部 環境保全課 温暖化対策係 直通電話 03-5722-9034

地球温暖化防止と快適な住環境の保全・形成

低炭素・資源循環型社会づくり

不用園芸土の回収と再生

～めぐろプラン土「花再彩（仮称）」循環の仕組み～

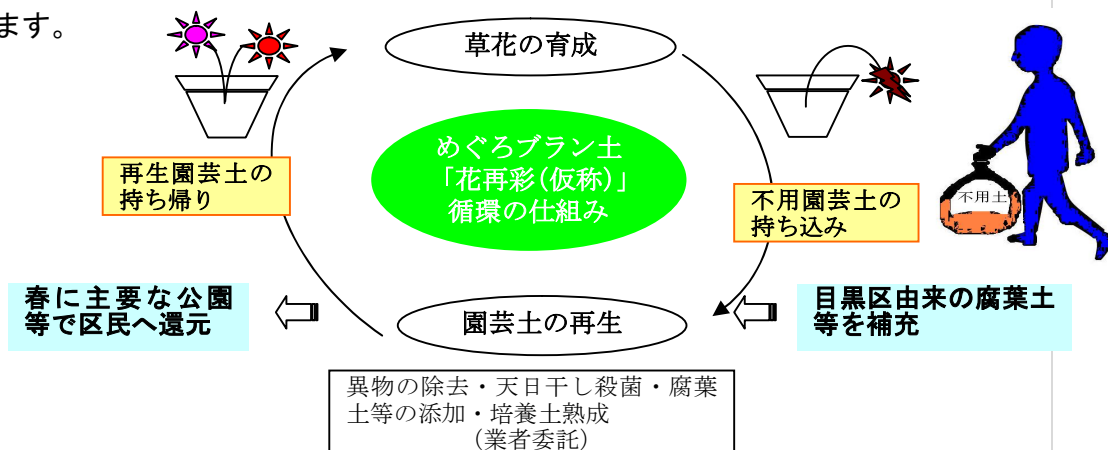
予算額 458千円

目的・概要

家庭で不用となった園芸土を回収し、区立公園の剪定枝葉から作った腐葉土等を加えて園芸土として再生し、区民に還元する循環的な仕組みを構築することで、ごみの適正処理とまちの緑化の推進を図ります。23区初めての試みです。

内容

- 家庭で不用となった園芸土は、廃棄物処理法上は原則として廃棄物に該当しないため、清掃事務所では収集していません。このため、ごみに混ぜて排出したり公園の植込みへ投棄したり、不適正な処理が目立っています。
- 春の植替え時期に区内3ヶ所程度を会場に、試験的に不用園芸土の回収と再生利用を実施します。
- 区民が不用となった園芸土を各会場まで持込み、前年度に持込まれた園芸土から再生した園芸土を交換に持ち帰ることで、区内で循環する仕組みを構築します。
- 区民が持込んだ不用園芸土は、混入異物や枯れた根を除去選別したあと、天日干しで滅菌消毒し、区立公園の剪定枝葉から作った腐葉土等を追加して園芸土に再生します。（この作業は造園業者に委託します。）この再生園芸土を次回の回収・交換時に利用します。



担当所管

環境清掃部 清掃リサイクル課 清掃計画係 直通電話 03-5722-9883

地球温暖化防止と快適な住環境の保全・形成

住みやすさを実感できる住環境づくり

自然環境の保全と回復 ～区民による身近な生物調査～

予算額 1,269千円

目的・概要

【区民による身近な生物調査】

区民が観察しやすい身近な生物の現況を、区民自らが調べ、その現況を知ることにより、多様なみどりを守り育てる区民意識の向上を図り、生物多様性に配慮した街づくりを進めます。

【ビオトープ育成活動支援】

子どもたちの自然との触れ合いや環境学習の場として区立小学校のビオトープ活動を支援します。

内容

【区民による身近な生物調査】

区では、区内の身近な自然の把握を区民へ参加を呼びかけて進めており、現在子どもからお年寄りまで自然通信員として約1050世帯の参加がある。調査は年5種類程度の指標種について対象とし、情報を分布図等に集計するとともに、昨年からホームページで公開している「めぐろ区の動植物リスト(『めぐろ区いきもの住民台帳』)」を更新するなど、区民と共に生物多様性に配慮した街づくりを進めます。

【ビオトープ育成活動支援】

平成9年度から区立小学校ビオトープの活動を支援し、現在19校で整備されています。

平成22年度は、整備支援を1校について実施するとともに、整備から10年を経過した2校について、活動の活性化や施設の改善を図り、さらに活動が促進されるように支援を行っていきます。

担当所管

都市整備部 みどりと公園課 みどりの係 直通電話 03-5722-9355

地球温暖化防止と快適な住環境の保全・形成

住みやすさを実感できる住環境づくり

自由が丘駅周辺地区の整備

予算額 217,023 千円

目的・概要

都市再生整備計画に基づき、以下の事業を行います

1 自由が丘駅前広場整備

バリアフリー化や歩行環境改善等を目的に、駅前広場整備を行います。

2 まちづくり活動の支援

まちづくり活動支援を、地域の状況に応じ行います。

3 道路整備を行い、歩きやすく、快適な歩行空間を整備します。

内容

平成21年度中に設計を完了し、22年度中に工事を行い、23年3月には整備を終える予定です。

1 自由が丘駅前広場整備の基本的考え方は、次のとおりです。

(1) 歩行空間を確保し、歩道拡幅、バリアフリー化を行い、歩行環境を改善します

(2) 公共交通としてのバスの利用に配慮し、交通結節機能を確保します

(3) タクシー、一般車等の利用に一定配慮するとともに交通の秩序を図ります

(4) イベント利用に配慮した施設配置とし、賑わいの創出を図ります

2 サンセットエリア地区、南口地区等の地区計画の検討などのまちづくり活動を支援します。

3 マリクレールストリートやサンセットエリア地区の道路整備を行います。

担当所管

街づくり推進部 自由が丘地区整備課

直通電話 03-5722-9430

地域特性を生かした目黒らしさのある取り組み

駒場公園の旧前田侯爵邸保存・修復

予算額 4,956千円

目的・概要

旧前田侯爵家駒場本邸跡地を公園とした駒場公園については、平成20年3月に東京都指定有形文化財に指定されたことから、和館及び庭園等の施設の老朽化や歴史的・文化的価値等の状況を踏まえ、現在、保存管理計画を検討しており、今後、計画的に保存及び修復を行なう予定である。

内容

22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
	◎庭園等保存・修復設計	◎庭園等保存・修復工事		◎庭園等保存・修復工事
●和館等保存・修復基本構想	●和館等保存・修復基本設計	●和館等保存・修復実施設計	●和館等保存・修復工事	●和館等保存・修復工事

駒場公園は、加賀百万石の当主だった旧前田家の前田利為侯爵駒場邸跡です。

昭和42年に東京都が公園として開園したもので、昭和50年4月から目黒区に移管されました。

平成20年3月、洋館に続き、和館及び庭園等が東京都指定有形文化財に追加指定となりました。

区民共通の貴重な財産を保護・継承するために、保存管理計画を策定し、保存及び修復を計画的に行うことにより、文化財として魅力ある公園づくりを進めていきます。目黒区の貴重な観光資源として活用が期待されており、今後、東京都と連携・調整を図りながら、保存・修復を行い、文化財などの地域資源を生かした街づくりを進めます。



担当所管

都市整備部 みどりと公園課 公園管理係 03-5722-9741

戦史（平和）資料の収集・保管・展示

予算額 649千円

目的・概要

目黒空襲から65年目にあたるため、歴史資料館において、戦時下の目黒地域と人びとの暮らしに焦点を当てた企画展「目黒空襲と銃後の生活（仮称）」を開催し（4/13～6/20予定）、平和への祈念とするとともに、広く区民に呼びかけて、新たな戦史・平和に関する資料の掘り起こしを行います。

内容

本展では当館所蔵資料の中から、空襲の過酷さを伝える当時の日記、写真、戦中・戦後のさまざまな生活道具を展示して、「銃後」の名のもとに厳しい生活を強いられた庶民の生活の一端を紹介します。

- I 日常の中の戦争
- II 学童集団疎開
- III 空襲と終戦



大日本国防婦人会の慰問袋発送

担当所管

教育委員会事務局 地域学習課 めぐる歴史資料館 電話 03-3715-3571（直通）

地域特性を生かした目黒らしさのある取り組み

観光まちづくり事業の実施

予算額 8,341千円

目的・概要

区では、区民・事業者・団体・行政が連携・協力し、にぎわいと活力あるまちの実現を目指し、区内産業の振興を図るため、17年3月に「目黒区観光ビジョン」を策定しました。

観光ビジョンに掲げられた施策を効果的に進めるために、21年10月に設立しためぐろ観光まちづくり協会を中心に、街あるきを主眼とした「観光まちづくり」を推進します。

内容

区としての競争力を高め、観光まちづくりによる「にぎわいと活力のあるまち」の実現をめざし、情報の収集・発信をはじめ、事業の企画・立案や企業協賛、観光ボランティアなどの人材育成等の多岐に渡る課題を解決していくためには、行政の枠を超えた、より柔軟な発想と行動力が必要です。

このため、協会を推進母体として、観光まちづくりを推進していくに当たり、区内観光資源を発掘するための基礎調査を実施します。

また、区内の観光情報の収集・整理、ならびに観光案内窓口業務を委託することにより、新規の雇用を拡大しながら、目黒区の魅力を発信していきます。

担当所管

産業経済部 観光・雇用課 観光・雇用係

直通電話 03-5722-9553

観光リーディングプロジェクト

予算額 23,000千円

目的・概要

区では、区民・事業者・団体・行政が連携・協力し、にぎわいと活力あるまちの実現を目指し、区内産業の振興を図るため、17年3月に「目黒区観光ビジョン」を策定しました。

観光ビジョンに掲げられた施策を効果的に進めるために、地域特性を活かしたリーディングプロジェクトの実施について支援していきます。

内容

観光ビジョンの中で、目黒区全体の活性化を牽引する役割を担う地区として位置づけられた「目黒川」および「自由が丘」において実施してきたモデル地区リーディングプロジェクト等を22年度以降は観光協会の主催事業としていきます。

①自由が丘スイーツフェスタ（22年5月）

ゴールデンウィーク期間中、「スイーツの聖地」自由が丘が街中で賑わいを見せます。駅前ステージでのキャラクターショーや音楽コンサート、お菓子の家の前での記念撮影、スイーツコンテスト、スイーツ店を巡るスタンプラリーなど、スイーツの街ならではのイベントです。

②目黒川さくらフェスタ (23年3月)

桜咲く目黒川の川辺が2日間限定で、おしゃれなオープンカフェに様変わり。ワインや石窯焼きピザなどを味わいながら、ジャズの調べと桜を楽しむ新趣向の花見イベントです。



この他にも、街あるきイベントや、角田市など友好交流都市の観光物産展が予定されており、これらの実施についても併せて支援していきます。

担当所管

産業経済部 観光・雇用課 観光・雇用係 直通電話 03-5722-9553

平成22年度目黒区予算案プレス発表資料

■ 問い合わせ先

目黒区役所	電話	03-3715-1111	(代表)
企画経営部財政課		03-5722-9137	(直通)
企画経営部広報課		03-5722-9621	(直通)